

！地震に備えよう！

直下型地震**M7.3**が起きたらどんな被害が？

〈高津区内の被害〉



全壊棟数 約 3100 棟 8.40%

そのうち 8 割は木造



半壊棟数 約 7500 棟 20.30%

消失棟数 約 2100 棟 5.50%



避難者数 約 60,000 人 25.40%

高津区民の**4**人に **1** 人は避難者に



死者 約 100 人

負傷者 約 2300 人



建物の耐震性のお話

1978年の宮城県沖地震を機に1981年に「**新耐震設計基準**」が施行され、まれに起きる**震度6～7程度の地震では崩壊・倒壊しない耐震性**を求めている。

旧基準：震度5程度の地震に耐える。

新耐震基準で建てられた建物は阪神・淡路大地震でも大きな被害が少なかった。

その後も建築基準法の改正により木造住宅の耐震性向上が図られている。

阪神・淡路大震災 震度**6** マグニチュード 7.3

東日本大震災 震度**7** マグニチュード 9.0

熊本地震 震度**7** マグニチュード 6.5

M7.3

市の備蓄は全市民の **1** 割

救援物資が届くのは早くても **3** 日後

家庭備蓄は最低 **3** 日分、できれば **7** 日分



「ローリングストック」循環備蓄

缶詰やレトルト食品を多めにストック
食べたらずいぶん ⇒ 常に一定量をキープ

命をつなぐ大切な水
飲料水

1人1日3ℓ

52 % の世帯で **断水**

40 % の世帯で **下水道機能不全**
トイレ不能



電話は繋がらない！！

最大 **95%** の通信規制！？

東日本大震災時には95%の音声通話が規制されました。

伝言ダイヤル「171」の利用など連絡方法を家族で話し合っておきましょう。



防災体験談

- ◆日頃からお風呂に水を貯めていたので、災害時は生活用水にできて助かりました。
- ◆仕事があるから水をもらいに行けない。一人暮らしほど備蓄は必要と痛感しました。
- ◆子供のおやつにしていたアメやチョコが、災害時には家族みんなのエネルギー源になりました。
- ◆カセットコンロがあったのでお茶をのむことができました。団らんを感じて落ち着きました。
- ◆穂難所のトイレの順番待ちが長すぎて、まるで拷問のようでした。
- ◆マンションの5階で自宅避難。トイレのために何度も避難所を往復。準備しなかったことを後悔。